

令和 8 年度 プレ・ジュエリーマスター学科試験問題

つぎの各設問にある文を読み、文中の()内に当てはまる正しい語句を(ア)～(オ)より一つ選び、解答欄に記号を記入しなさい。選択肢のない設問は回答欄に記述しなさい。

問1 宝飾史

- (1) ()では庶民の間でも櫛、かんざし、こうがいなどの頭飾用具が女性の髪を飾った。
- (ア) 縄文時代 (イ) 飛鳥時代 (ウ) 奈良時代
(エ) 弥生時代 (オ) 江戸時代
- (2) 奈良時代では貴族、官吏の間で()の腰飾り、髪飾りが身につけられた。
- (ア) 西洋風 (イ) 韓風 (ウ) 蘭風
(エ) 和風 (オ) 唐風
- (3) 古墳時代には()から変化した碧玉製の石釧、車輪石が作られた。
- (4) 1985年～1990年のバブル経済下、()の大ぶりのデザインが溢れ、喜平チェーンやブレスレット、コインが流行した。
- (ア) シルバー (イ) ゴールド (ウ) プラチナ
(エ) パラジウム (オ) ホワイト・ゴールド
- (5) 1989年11月1日には日本ジュエリー協会により()のキャンペーンが始まる。
- (ア) ジュエリー・デー (イ) アクセサリー・デー (ウ) トリロジー
(エ) スイート10 (オ) パール・デー
- (6) 1966年、()の啓蒙活動を行うデ・ビヤス社が日本に上陸した。
- (7) 山梨県では明治時代になると()の採掘が自由化された。
- (ア) バナジウム (イ) 水晶 (ウ) メノウ
(エ) 砂金 (オ) ぶどう石
- (8) 大正時代、甲府の水晶工芸の業界では山梨県産水晶の枯渇に対処するために()産水晶の原石輸入が行われた。
- (ア) 中国 (イ) ブラジル (ウ) アメリカ
(エ) ロシア (オ) ミャンマー
- (9) 金櫻神社の社宝「火の玉、()の玉」は江戸時代に京都の玉造りが加工した。

問2 マネジメント

(1) 生産の4Mとは()、資材、設備、方法のことである。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| (ア) 人 | (イ) 加工 | (ウ) 管理 |
| (エ) 予測 | (オ) 需要 | |

(2) 作業管理の5Sとは「()」、「整頓」、「清掃」、「清潔」、「躰け」のことである。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| (ア) 制限 | (イ) 設備 | (ウ) 整理 |
| (エ) 相談 | (オ) 生産 | |

(3) QCDとは、Q=「品質」、C=「()」、D=「納期」のことである。

問3 ビジネス

(1) 産業財産権の上位概念に当たる権利の総称を()と呼ぶ。

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| (ア) 所有権 | (イ) 知的財産権 | (ウ) 商標権 |
| (エ) 特許権 | (オ) 著作権 | |

(2) 一定の商品群に対し、商品の品質を特定する()を「ブランド」と呼ぶ。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| (ア) 商標 | (イ) 保証 | (ウ) 商品名 |
| (エ) 値札 | (オ) 銘柄 | |

(3) 「()」とは、メディアを利用して表現されたアイデアを独占・保護する権利である。創作性の強い芸術作品はこの対象である。

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| (ア) 商標権 | (イ) 著作権 | (ウ) 特許権 |
| (エ) 意匠権 | (オ) 実用新案権 | |

(4) 製造物責任法は別名、略称である()法と呼ばれる。

(5) 天然クォーツのモース硬度は()である。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| (ア) 8 | (イ) 6 | (ウ) 5 |
| (エ) 7 | (オ) 9 | |

(6) ブラック・スター・エンスタタイトは強い光を当てるとアステリズムを生じる。理想的なカットの場合、交差した光の筋を中心より数えると()条のスターになる。

- | | | |
|-------|-------|-------|
| (ア) 8 | (イ) 7 | (ウ) 3 |
| (エ) 6 | (オ) 4 | |

(7) 分散度が高い透明な宝石程、強い光を当てた場合に、屈折による内部反射により虹が生じる。この現象を()と呼ぶ。

- | | | |
|--------------|-------------|-----------|
| (ア) シンチレーション | (イ) アステリズム | (ウ) ファイアー |
| (エ) シャトヤンシー | (オ) イリデッセンス | |

(8) ()は多孔質であり、銅イオンにより空青色～青緑色に発色するのが特徴の石である。

- | | | |
|-----------|------------|----------------|
| (ア) ひすい | (イ) アマゾナイト | (ウ) ブルー・カルセドニー |
| (エ) サファイヤ | (オ) トルコ石 | |

(9) エメラルド、アクアマリン、モルガナイトは()グループの変種名である。

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| (ア) クリソベリル | (イ) ベリル | (ウ) トルマリン |
| (エ) ガーネット | (オ) クォーツ | |

(10) ダイヤモンドの評価4Cの中でカラーグレードの最も高いのは()グレードである。

(11) モース硬度が8で完全な劈開があり、一般的に黄色の宝石は()である。

(12) 4大宝石のうち、超音波洗浄器を使用する際に特に注意が必要な宝石は()である。

(13) 金属製品にめっきや張りを施した製品に刻印する場合、金張りは()と表記される。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| (ア) 8 | (イ) GP | (ウ) GF |
| (エ) GC | (オ) GM | |

(14) 300gのpt900には、()gのプラチナが含まれている。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| (ア) 225 | (イ) 200 | (ウ) 250 |
| (エ) 185 | (オ) 270 | |

(15) ルテニウム、ロジウム、パラジウム、オスミウム、イリジウム、プラチナの6金属は総称として()と呼ばれる。

- | | | |
|---------|----------|---------|
| (ア) 卑金属 | (イ) 非鉄金属 | (ウ) 白金族 |
| (エ) 貴金属 | (オ) 非金属 | |

(16) 銀925%に銅75%を加えた合金は()・シルバーと呼ばれる。

(17) 使用素材に制限のあるものをファイン・ジュエリー、ないものを()・ジュエリーと呼ぶ。

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| (ア) コスチューム | (イ) メンズ | (ウ) ブライダル |
| (エ) アクセサリー | (オ) ファッション | |

問4 デザイン

(1) 色には「色相」、「()」、「彩度」、という3つの要素がある。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| (ア) 透明度 | (イ) 明度 | (ウ) 補色 |
| (エ) 寒色 | (オ) 暖色 | |

(2) 企画書の組み立て方には、まず結論を先に述べ、その結論に至るプロセスを展開していく()法がある。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| (ア) 遠近 | (イ) 演繹 | (ウ) 透視図 |
| (エ) 倒置 | (オ) 帰納 | |

(3) リングの二面図の描き方は、真上、()からの二図である。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| (ア) 真後ろ | (イ) 斜め | (ウ) 真下 |
| (エ) 真横 | (オ) 真正面 | |

(4) 3点透視図法では消失点は()個である。

問5 プロダクト

- (1) ファセッターはドップに接着した宝石素材を一定の()で研磨板に押し当てる為の機械である。
- (ア) 温度 (イ) 角度 (ウ) 時間
(エ) 硬度 (オ) 圧力
- (2) 宝石の艶出し加工に用いる緑色の研磨材(剤)は()である。
- (3) 宝石加工において切削加工の作業中は()やマスクを使用し、眼球の保護と粉塵吸入の防止に注意すること。
- (ア) 拡大ルーペ (イ) 防護メガネ (ウ) ゴム手袋
(エ) 偏光グラス (オ) 遮光グラス
- (4) ()は、金属材料にカニコンパス等を用いて印を付ける作業である。
- (ア) きさげ (イ) みがき (ウ) はぜおり
(エ) けがき (オ) けびき
- (5) 貴金属加工に使用する糸ノコの番数で、最も幅が狭く刃が細かいものは()番である。
- (ア) 0 (イ) 6/0 (ウ) 6
(エ) 8/0 (オ) 8
- (6) 5分ロウの融点は約()℃である。
- (ア) 740 (イ) 810 (ウ) 625
(エ) 700 (オ) 840
- (7) ()とは、直接地金を融かすことによる接合の方法である。最近では高温バーナーよりもレーザー溶接機が普及している。
- (ア) 共付け (イ) カシメ (ウ) ロウ付け
(エ) リベット (オ) ハンダ付け
- (8) 硼砂の成分は()であり、878℃で金属表面にガラス状の被膜を作る。
- (9) ジュエリーの製造に用いる鑄造機には主に遠心鑄造機と()式鑄造機と吸引加圧式がある。
- (10) 可燃性ガスと酸素を併用して行う金属の溶接、溶断、加熱の作業に就く場合は、登録教習機関が実施する「ガス()技能講習」を修了した者でなければならない。

令和 8 年度 プレ・ジュエリーマスター学科試験解答用紙

問 1

問 1							
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
オ	オ	貝輪	イ	ア	ダイヤモンド	イ	イ
(9)		配点は 選択式 各 2 点×29問=58点 記述式 各 3 点×14問=42点					
水							

問 2

(1)	(2)	(3)
ア	ウ	原価

問 3

問 3								
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
イ	オ	イ	PL	エ	オ	ウ	オ	イ
(10)		(11)		(12)		(13)	(14)	(15)
D		トパーズ		エメラルド		ウ	オ	ウ
(16)		(17)						
スターリング		ア						

問 4

(1)	(2)	(3)	(4)
イ	イ	オ	3

問 5

問 5							
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
イ	酸化クロム	イ	エ	エ	ア	ア	ホウ酸ナトリウム
(9)		(10)					
真空加圧		溶接					

得点

受験番号